

「NEDO懸賞金活用型プログラム」第5弾

NEDO Challenge, 製造業DX
～製造技能の伝承・新たな製造ノウハウの構築をデジタルで実現せよ～
公募説明会

懸賞金活用による技術開発について

2025年4月10日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

半導体・情報インフラ部

主査

小川 吉大

NEDO懸賞金活用型プログラム 背景

政策的な重要性

- **イノベーションを創出し**その恩恵を社会課題の解決によって国民や社会に還元していくためには、**従来にない先端技術を社会実装**につなげるための適切な**方策**を推進することが重要です。
- 「イノベーション循環の実現に向けた政策の方向性」（2024年3月6日 経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会 イノベーション小委員会）では、**経済産業省が実施する研究開発事業**において、国としてクリアすべき明確な目標を掲げ、特定の技術・手段によらず、**研究開発の『成果』に報酬を支払う仕組みである懸賞金型研究開発事業**を本格実施することとしています。

世界の取組状況

- 諸外国においては、政府や財団が研究開発の目標を掲げて多数の応募者を募り、**様々なアイデアやアプローチをコンテスト形式により競わせ**、開発期間を終えた段階等で、目標水準以上の成果を上げた者のうち上位数者に対して**懸賞金を支払う仕組みを採用**しています。
- **従来にない先端技術の研究開発成果を最大化**するためには、**様々な知恵の集約とトライアルを促進**する必要があります。



NEDO Challenge

NEDO懸賞金活用型プログラム（先導研究プログラム懸賞金事業）

NEDO懸賞金活用型プログラム 活動

第1弾：衛星データを活用したソリューション開発（コンテスト終了）

NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth

第2弾：リチウムイオン蓄電池の回収システムに関する研究開発（コンテスト終了）

NEDO Challenge, Li-ion Battery 2025 発火を防ぎ、都市鉱山を目指せ！

第3弾：サイボーグAIチャレンジ（コンテスト終了）

NEDO Challenge, Motion Decoding Using Biosignals

第4弾：量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発（2025年度公募開始）

NEDO Challenge, Quantum Computing “Solve Social Issues!”

第5弾：製造事業者の業務ノウハウを形式知化するデジタルソリューション開発（公募中）

NEDO Challenge, 製造業DX～製造技能の伝承・新たな製造ノウハウの構築をデジタルで実現せよ～

第6弾：衛星データを活用したソリューション開発（2025年度公募開始）

NEDO Challenge, [名称未定]

NEDO懸賞金活用型プログラム 実施方針

アウトプット目標

- **共同研究等につながるシーズの発掘を目指す**ために、懸賞広告において研究開発の目標を掲げて多数の応募（以下、「応募」とは「成果の提出」を意味する）を募る。
- 本目標の達成に向けた取り組みを通じて、**実用化・社会実装を見据えた革新的なシーズや解決策が増える**ことが期待される。

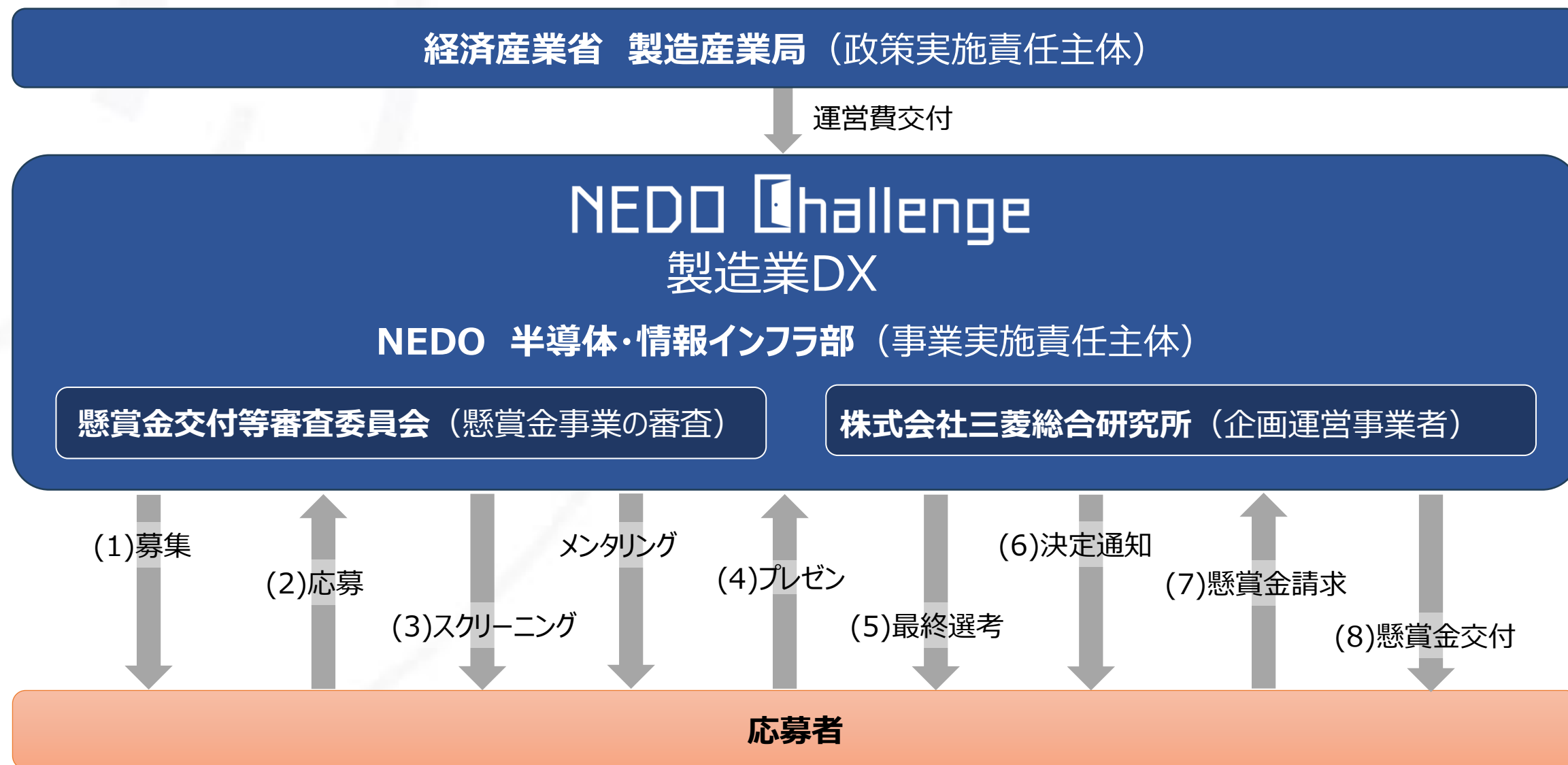
アウトカム目標

- 技術課題や社会課題の解決に向けて、懸賞広告応募者と当該シーズのユーザーとの連携の機会を創出し、**短期（２年後まで）に共同研究等につなげることを目指す**。
- なお、本制度において、つなげることを目指す「共同研究等」には、国家プロジェクトや、民間企業が大学・公的研究機関等に対して共同研究費等を提供するものに加え、応募者と他の企業や大学・公的研究機関等との間の秘密保持契約（NDA）や覚書の締結、自治体調達の契約、国によるガイドラインの策定等を含む。

アウトカム目標達成向けの取り組み

- 提出された成果については、応募者の意向に配慮しつつ、該当技術分野に係るステークホルダーをはじめ、**社会に広く周知する機会**を設けるとともに**市場ニーズ、技術動向、特許動向等の情報提供**を行う。それにより、**コミュニティ形成や共同研究等につながり**、民間投資の誘発や社会実装に向けた次ステップへの発展が期待される。

実施体制





国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

<https://www.nedo.go.jp/>